

高すぎる保険税の引き下げ、資格証明書の発行減、人間ドック助成増など 市民の健康と保険税問題で質す

日本共産党 柿沼市議



本庄ケーブル
テレビから掲載

保険税の引き下げなど、 国民健康保険の問題点の改善について

質問 国民健康保険（国保）は国保以外の公的医療保険の対象とならない人々がすべて加入しているため他の公的医療保険に比べて高齢者や無職者の加入が多くなっている。

そのような中で本庄市は保険給付費の大幅な増加による一般会計からの法定外繰入の増加を解消するためとして、2011年（平成23年）に1世帯あたり2万1200円、2013年（平成25年）に1世帯あたり2万1080円の保険料の値上げを行っている。

その結果、市民1人あたりの所得が低い中、所得に占める保険料率は県内でトップクラスとなっている現実がある。

◆4人世帯で妻が45歳、高校生と中学生の世帯で総所得200万円の場合16.8%、総所得300万円では16.4%となっており、県内で最高である。おなじ世帯で他市を見れば、熊谷市で12.2%、200万円世帯、11.9%（300万円世帯）であり、本庄市はものすごい高さとなっている。この現状についてどのようにとらえているか伺う。

◆また、保険税の滞納についての取り扱い、学資保険が差し押さえられたと聞かすが、差し押さえについての取り扱い、資格証明書の発行を止めることについての考えを伺う。

◆障害者や子ども医療費の無料化を自治体独自で行っている場合、財政調整交付金が減額されるペナルティーの問題、高すぎる保険税の引き下げについて、どう考えるか伺う。

◆2018年からの国保が県単位に広域化されることについてのメリット、デメリット、本庄市の人間ドックの補助は、2万円と近隣と比較して少ないが、なぜ、近隣より低いのか、その理由と引き上げについての考えを伺う。

答弁 本庄市の療養給付費は県内市の中16位で平均より1万円高くなっている。保険税は平均より約4600円高くなっている。一方法定外繰入金は1人あたり5187円、深谷市は2万7132円、熊谷市は1万9305円で、財政状況は改善されているものの赤字補填のため法定外繰入が必要である。医療費は今後ますます高額になる傾向にあるので保険税を引き下げることは困難である。

柿沼綾子議員の一般質問

・平成27年6月現在で資格証明書164世帯、短期保険証884世帯発行した。これらは交付することが目的ではなく納税意識を醸成するため納付相談の機会を増やし実情を聞く手段ととらえている。

・差し押さえについては法令を遵守して行っており、学資保険も通常の生命保険と同様として差し押さえをしている。

・窓口払いをなくすことで医療費が増加するとして国は2000万円の国庫負担金の減額調整をしている。県内の市町村と共に減額調整廃止の要望を国に行っていく。

・広域化で市は県に納付金を納める。その納付金を市が保険料として徴収する。広域化されてもほとんど変わらないと感じると思う。人間ドック助成2万円は多くの人を受けてもらうようにと決定した。

他市に比べ多く発行されている資格証明書（2015年4月現在）

本庄市 176、深谷市 6、熊谷市 0、秩父市 37、上里町 21、美里町 0、神川町 1、寄居町 3、横瀬町 4、皆野町 14、長瀬町 0、小鹿野町 0、

（0の自治体は県内で23、本庄市より多い自治体は2自治体）

増額が求められる人間ドック助成金

本庄市 上限2万円

上里町 人間ドック2万5千円まで、脳ドック2万5千円まで

併診ドック（人間ドックと脳ドック）4万5千円まで

美里町 人間ドック2万5千円まで、脳ドック2万5千円まで

併診ドック（人間ドックと脳ドック）4万円まで

神川町 上限2万5千円（人間ドック、脳ドック、併用ドック共通）

※対象者 35歳以上（本庄市、美里町）30歳以上（上里町、神川町）

日本共産党

本庄市議会ニュース

No. 103

2016年 5月15日（日）

発行・日本共産党本庄市議会議員

市議会控室

本庄市本庄3-5-3市役所内

党本庄市委員会 21-2098

柿沼綾子 24-3508

生活相談はお気軽に

<http://www.jcp-saitamahokubu.jp/>

—日本共産党 柿沼綾子市議— 2016年度予算で国保会計への繰入増、 資本金1億円以上の法人に不均一課税を課し、市税の増収検討を要望

本庄市議会三月定例会報告

2月25日から開催されていた本庄市議会第1回(3月)定例会は3月23日に閉会しました。

今回は、いじめ問題対策連絡協議会設置条例、本庄市行政不服審査会条例、職員、議員、市長などの給与や報酬に関する条例の改正、のほか、2015年度一般会計及び特別会計の補正予算、2016年度一般会計及び特別会計予算など、計48議案が提案、審議され、可決されました。

2016年度予算に反対

—日本共産党—

一 昨年の消費税8%への増税の影響は政府の予想を超えた深刻なものとなっています。

アベノミクスの経済政策により、大企業や一部の富裕層には大きな恩恵がありました。国民には多くの苦しみが強いられ、格差がますます広がっています。社会保障の「充実」にあてられる消費税は増税分の16%にすぎず、年金、医療、介護、生活保護費の削減などが国民をますます苦しめています。

そのような中で地方自治体の果たす役割は今まで以上に重要になってくることを指摘して以下の問題点や改善すべき点を上げて討論しました。

- ◎ 法人市民税については、資本金1億円以上の企業に対し、9.7%から12.1%の不均一課税を課した場合、2015年度実績でみた場合、242社、約5,400万円の収入が見込まれるので、こうしたかたちで増収を図る検討をすべき。
- ◎ 国民健康保険特別会計への一般会計からの繰出し金をふやして不安定社会の中で健康を保持し、安心できる施策を進めること。
- ◎ また、国保広域化のなかで、全体で昨年今年と公費3400億円が交付されているので、これらを有効に使うこと。

国民健康保険会計予算に反対 柿沼綾子議員

2014年平成26年度決算での法定外一般会計繰入は1億947万円と近隣や県内と比較しても4分の1程度と大変少ないこと、短期保険証743件、資格証162件の発行も、埼玉県内の他市と比較してもずば抜けて多いことなどを指摘して、繰入の増額、資格証などの発行を止めることを求めて反対しました。

(関連記事は裏面の国保関連一般質問に詳しく記載)



議長は 岩崎 信裕氏に

◎議長選結果 (総数21票)(敬称略)

岩崎 信裕 19票、
柿沼 綾子 1票 無効1票

◎副議長選結果 (総数21票)

小暮 ちえ子 19票
柿沼 綾子 1票 無効1票

[2015年度の政務活動費報告]

年間192,000円(限度額)

柿沼綾子

支出合計 286,354円

(広報費、資料購入費等)

※詳しくは市議会事務局で御覧ください

柿沼綾子議員の所属

総務常任委員会副委員長
本庄上里学校給食組合議会議員
民生委員推薦会委員

日本共産党本庄市議会ニュース

No.103 2016年5月15日(日)

3月議会の主な議案に対する議員(会派)の態度

(○は賛成、×は反対、敬称略)

議案	日本共産党	市議団未来					平政倶楽部				市議団 大地		公明党		無会派		結果					
	柿沼綾子	巴高志	堀口伊代子	榎田平一郎	柿沼光男	早野清	明堂純子	清水達夫	広瀬伸一	小林猛	林富司	青木清志	富田雅寿	田中輝好	岩崎信裕	高橋和美		小暮ちえ子	清水静子	山口薫	町田美津子	金子喜美子
2015年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
2016年度国民健康保険会計	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
2016年度一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決